第109号

こだま

発刊日　令和7年12月19日
発行者　青森県立三戸高等学校
　　　　ＰＴＡ広報委員会

体育祭

紅軍、完全勝利！

紅軍団長　髙村　宥輝

今年度は、天気がよく外での開催となりました。私は人生で初めて団長という大役を務め、当初は緊張からくる不安でうまくできるか心配でした。しかし、本番になったら「やってやろう」という気持ちが湧き、その気持ちから選手宣誓をうまくやりぬくことができました。また、紅軍一人一人が仲間を応援したり、種目を通し学年を越えて協力し合ったりなど、全員で士気を高めたことによって優勝することができたと思っています。

今年の体育祭でも、先生方や保護者の皆様、また企画・運営を最後までやり切ってくれた体育委員会の皆さんの協力のもと、無事に開催することができました。

また、団長を務めたことは貴重な体験になりました。ありがとうございました。来年の体育祭も成功することを願っています。

心をひとつに

白軍団長　上田　和奈

私は、自分から白軍団長に立候補しました。団長＝男子というイメージがありましたが、それ以上にやってみたいという気持ちがあったからです。また、中学三年生の体育祭で副団長を務めた際に結果としては残念なものでしたが、経験や学びなど様々なものを得ることができ、また行事で人をまとめるポジションにつきたいと想ったからでした。

しかし、体育祭二日前に負傷してしまい走るのも難しい状態となりました。本番は、放送業務を行いながら、軍の応援をしました。競技に出られなかったことだけが私の後悔です。ですが、円陣で全員の心を一つにし、競技では楽しみながら頑張る姿を見ることができてよかったと思います。

結果は準優勝でしたが、思い出に残る体育祭になったと思いました。また、「青の煌めきダンス」も楽しかったです。来年の体育祭も、無事に成功することを願っています。

みんなの支えがあって出来た体育祭

体育・保健委員長　千浦　瑠杏

今年の体育祭は、去年の7月と違い、二学期の10月に開催され、準備期間が短いなかでの体育祭となりました。体育・保健委員会では、競技決め、グラウンド整備、パンフレットの作成、用具の準備や当日の行事運営を行いました。夏休みが明けたあたりから本格的に活動を始め準備期間が短いなか、体育・保健委員や先生方と協力したり、支えられたりしながら何とか当日を迎えることができました。当日は少し暑かった気もしますが、天気に恵まれ、絶好の運動日和でした。少し運営上でのトラブルもありましたが、体育・保健委員のみんなで助け合い、体育祭を最後までやり遂げることができました。

最後に、校長先生をはじめ、三戸町の町長さんやたくさんの御来賓の方々、そして先生方も参加してくださったり、保護者の方々の応援もあり、本当にありがとうございました。勝敗があるものの、和やかな雰囲気につつまれ、体育祭の運営がスムーズに行きました。私がここまで出来たのは支えてくれたみなさんのおかげです。私にとって最後の体育祭はとても良い思い出になりました。

次は球技大会に向けて最後まで体育・保健委員会の仕事を委員長として責任を持って、これからも頑張って行きたいです。

体育祭支援活動

全国高校PTA連合大会

全国高P連三重大会に参加して

PTA会長　三代川　将仁

令和七年八月二十一日・二十二日の二日間に第七十四回全国高等学校PTA連合会大会三重大会が三重県津市にある津市産業・スポーツセンター（日硝ハイウエーアリーナ、メッセウィングNHW）で開催されました。「出会いはじまる常若のくに」～「集い、想い、継なぐ」三つの重なる明日への力～をテーマに全国から六千人を超える参加者が集まりました。

一日目に行われた分科会では、第一分科会から第四分科会に分かれ、それぞれ「子育て・親育て」「学校・教育」「進路・キャリア」「PTA活動」をテーマに講演が行われました。今回参加したのは第三分科会「進路・キャリア」で、「AI時代におけるWell-Beingなキャリアデザイン～青春期における感情・感動体験の重要性～のテーマで、講師に國友　尚さん、パネリストとして北川竜也さん、宮本美佐さんを交えてのパネルディスカッションが行われました。VUCAと呼ばれる変化が激しく不確実性が増す時代背景のもと、進路やキャリアにおいても正解が見えない時代に、変化を柔軟に受け入れ、どのような環境下においてもWell-Beingである為にどう在るべきかを考える重要性を感じました。

二日目は、井村屋㈱代表取締役会長CEOの中島伸子さんの記念講演が行われました。様々な逆境と格闘しながら現在に至り、井村屋グループでは「一人の100歩より100人の一歩」を掲げ、組織マネジメント強化に奔走する日々を送られていると話されていました。

今回得られた貴重な学びを今後の活動に活かしていきたいと思います。

出会いはじまる常若のくに
～「集い、想い、継ぐ」三つの重なる明日への力～
第74回全国高等学校PTA連合会大会2025三重大会
2025年8月21～22日 津市産業・スポーツセンター

秋「朝の一声あいさつ運動」

あいさつ運動

健全育成委員長　上田　郁恵

朝のあいさつ運動に参加しました。生徒一人一人が進んで「おはようございます。」とあいさつをしていてとても温かい気持ちになりました。人と人が言葉を交わす力の大きさを改めて感じ心が晴れ晴れとしたものです。普段感じない学校での自然な表情を見ることができ嬉しく感じました。ありがとうございました。来年度も皆様のたくさんの参加よろしくお願いします。

笑顔と喜びに満ちた三高祭

生徒会長　堀合　優斗

今年度の文化祭は、昨年に引き続き二日間に渡って開催することができました。多くの人の思い出に残るような活気溢れる文化祭をみんなで一体となって創り上げ、無事に行うことができたことをとても嬉しく思います。

文化祭準備期間では、生徒のみんながクラス展示の作成、発表の準備や練習などを先生方と協力しながら進めている様子が見られました。文化祭が近づくにつれて、学校全体の文化祭を楽しみに思う気持ち、期待感などが高まり、より良い文化祭にしようという雰囲気が目に見えて感じられました。そして、待ちに待った文化祭当日は、生徒、先生方、一般の来場者の方々、みんなの喜びや笑顔に満ち、充実した二日間となりました。

今年度の文化祭を活気溢れるものにでき、無事に成功させることができたのは、生徒、先生方をはじめとした多くの方々が協力してくださったおかげです。本当にありがとうございました。

文化祭の思い出

文化・生活委員　石木田咲愛
冨樫　羽妙

私たちは三高祭でステージ装飾、校内や学校の正面、校門などを飾り付けしました。お花紙で作った色とりどりの花や膨らませた色々な形の風船、学年ごとに描いた「のれん」などを飾りました。準備中は、たくさんの量の装飾品を作ったり、高い場所に飾ったりすることに苦労しましたが、一年生から三年生が役割を分担して協力しながら責任をもって、そして来てくれるお客様の笑顔と感動する場面を思い浮かべながら作業をしました。

みんなで協力して作業したからこそ、生徒や先生方だけではなく、保護者や地域の方々にも喜んでもらえるような飾り付けができ、三高祭を成功させることができました。協力してくれた皆さん、来てくださった方々、本当にありがとうございました。

三高祭

Be Real! ～青春をシェアしよう～

みちの子屋台

三年　岩間　爽風

私たちの担任の名前は、「みちこ」先生です。今回の模擬店では、自分たちで調理したものを販売しました。フランクフルト、唐揚げ、たこ焼き、かき氷、チョコバナナなどです。材料の仕入れから調理方法などみんなで話し合いながら決めていきました。準備も不安を抱えながらでしたが、みんなで声を掛けあいながら、相談しながらやっていくうちに、準備が整い販売することが楽しみになってきました。

私は、かき氷を担当しました。文化祭前にかき氷を作る練習をしたのですが、初めての経験で、想像以上に氷が固く力が必要だったためとても苦戦しました。その後かき氷の試食を行い、削っただけではありますが、自分が作ったものを皆で食べることができ、美味しいと言う皆の笑顔を見て、嬉しく感じ当日も頑張ろうという気持ちになりました。

当日私は、家政部での販売と三年みらい探究コースでの実習販売があったため、模擬店にいる時間は少なかったのですが、お客さんの反応を見ることができ嬉しかったです。当日寒かったため、なかなか売れず苦労しましたが、呼び込みを行い、協力することができました。全ての商品が完売し、みんなの顔は充実感でいっぱいでした。

今回の模擬店で、学んだことや経験を、今後の生活や仕事に生かしていきたいです。

ＰＴＡバザー開催

研修委員長　松澤　俊彰

先日の三高祭では、研修委員長としてバザーを開催し、保護者のみなさんから提供していただいた野菜を販売しました。今年は地域のみならず、遠く長野県からもセロリを提供していただき、とても好評でした。ご協力いただいた皆様には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

朝から準備に追われましたが、色とりどりの新鮮な野菜が並ぶと、会場が一気に明るい雰囲気になり、とてもやりがいを感じました。

販売が始まると、たくさんの方に足を運んでいただき、忙しくも充実した時間を過ごすことができました。お手伝いいただいた保護者の皆さまとも温かい交流が生まれたことが何より印象に残っています。

また、合間に生徒たちの模擬店を見て回ることもでき、どの店も工夫が凝らされていて感心させられました。呼び込みの声や手作りのポスター、商品のアイデアなど、生徒たちが一生懸命準備してきた様子が伝わってきて、見ているこちらまで元気をもらえました。

準備は大変でしたが、多くの人とふれ合いながら、子どもたちの成長を感じられる貴重な時間となり、改めて学校行事に関わる楽しさと大切さを実感しました。

子どもの卒業のため、今回で最後の三高祭となり、少し寂しい気持ちもありますが、ＰＴＡ活動を通じて多くの方々と出会い、子どもたちの成長を間近で感じられたことは、かけがえのない思い出となりました。本当にありがとうございました。

**バザーの売上金額 ¥30,730でした。
売上金は生徒会会計へ入金し、
生徒の活動に役立てたいと思います。**

部活動活動報告

ソフトテニス部

第71回青森県高等学校ソフトテニス新人大会
第52回全日本高等学校選抜ソフトテニス大会一次予選会

団体選　男子　1回戦　1－2大湊
個人戦　男子　1回戦　鎌倉・小泉4－0十和田工業
2回戦　3－4下山学園
1回戦　坂本颯・田村1－4五所川原第一
大村・坂本賢1－4弘前実業
菊地・工藤2－4三本木
個人戦　女子　1回戦　櫻井・砂場3－4三本木

第79回南部地方高等学校ソフトテニス選手権大会

予選リーグ男子　鎌倉・小泉　1位／4チーム
大村・坂本賢　3位／4チーム
坂本颯・田村　2位／4チーム
菊地・工藤　3位／3チーム
決勝トーナメント　1回戦　鎌倉・小泉4－0工大一
2回戦　鎌倉・小泉0－4工大一
予選リーグ女子　櫻井・砂場　3位／4チーム
名久井・(八戸)　4位／4チーム

卓球

第51回八戸市長杯北奥羽卓球選手権大会

男子シングルス　1回戦　松尾0－3D-WOLF
原田1－3鮫中学校
2回戦　沼畑0－3YSD卓球センター
女子シングルス　1回戦　佐藤3－0三条中
崩　0－3東　中
大澤3－1大館中
中野0－3東卓会
2回戦　佐藤0－3八戸東
大澤0－3八戸工業大
女子団体　予選リーグ　三戸2－3PPW
三戸2－3八戸高校
予選リーグ敗退

第8回二戸オープンリーグ卓球大会

男子1部シングルス　予選リーグ
Aグループ　原田　3敗　下位トーナメントへ
Dグループ　高本　2敗　下位トーナメントへ
Mグループ　松尾　2敗　下位トーナメントへ
下位トーナメント
1回戦　松尾(三戸)3－0高本(三戸)
原田　1－3八戸二中
2回戦　松尾　0－3八戸二中

令和7年度第12回六戸ダブルス卓球大会

オープン男子　予選リーグ①
グループA　松尾・沼畑　0勝2敗　敗退
オープン女子　リーグ戦
大澤・中野　2勝1敗　準優勝
佐藤美(三戸高校)・(三戸中学校)　1勝2敗　第3位

第38回山口杯県南卓球大会

一般男子シングルス　1回戦　松尾0－3KOK
原田0－3KOK
高本0－3さんのへアップル
沼畑0－3八戸高専
男子団体　1回戦　三戸高校0－3柏崎クラブ小学
一般女子シングルス　1回戦　崩　3－0achieve
中野0－3achieve
大澤0－3八学光星
佐藤3－0軽米高校
2回戦　佐藤1－3八学光星

第9回二戸オープンリーグ卓球大会

男子1部シングルス　予選リーグ
Bグループ　松尾　1勝2敗　下位トーナメントへ
Gグループ　沼畑　1勝1敗　下位トーナメントへ
Hグループ　高本　3敗　下位トーナメントへ
上位トーナメント　1回戦　沼畑0－3仙台卓球センター
下位トーナメント　1回戦　松尾W－L岩泉高
高本1－3八戸二中
2回戦　松尾3－0八戸二中
準決勝　松尾0－3柏崎クラブ
女子1部シングルス　予選リーグ
Cグループ　中野　1勝2敗　下位トーナメントへ
Dグループ　佐藤　1勝1敗　上位トーナメントへ
上位トーナメント　1回戦　佐藤3－1鮫中
準決勝　佐藤3－0仙台卓球センター
決　勝　佐藤1－3洋野TTC
準優勝
下位トーナメント　2回戦　中野W－L矢巾中
準決勝　中野0－3八戸二中

令和7年度青森県高等学校卓球新人選手権大会
兼 東北高等学校選抜卓球大会青森県予選会

男子学校対抗2部　2回戦　三戸2－0三沢
準々決勝　三戸0－2八戸東
女子学校対抗1部　1回戦　三戸0－3青森商業
男子シングルス　1回戦　沼畑3－1柴田学園
松尾1－3十和田工
高本0－3弘前工業
原田0－3十和田工
2回戦　沼畑3－0三農恵拓
3回戦　沼畑0－3弘前
女子シングルス　1回戦　大澤3－0三沢商業
佐藤3－0青森
崩　3－0谷地(青森)
中野3－1青森北
2回戦　大澤0－3弘前実業
佐藤3－2八学光星
崩　1－3弘前実業
中野0－3弘前実業
3回戦　佐藤0－3青森商業

弓道

第5回「鳴弦館」弓道大会

男女、予選敗退

令和7年度第49回県南地区高等学校弓道大会

男子団体　予選敗退　(24射13中)
女子団体　予選敗退　(32射6中)
男子個人　5位　工藤瑛人　(8射7中)

令和7年度第26回八戸地区高等学校弓道大会

男子団体　予選敗退　(24射6中)
女子団体　第2位　(24射12中)
女子個人　2学年の部
第2位入賞　志賀美玲　(8射5中)

令和7年度秋季県下高等学校弓道大会

男子団体　予選敗退　(24射10中)
女子団体　予選敗退　(24射8中)

商業

令和7年度第57回青森県高等学校ビジネス計算新人競技大会

個人総合　2年1組　薄葉　匠　11位
(東北大会出場)

令和7年度第52回東北六県高等学校ビジネス計算競技大会

個人総合　2年1組　薄葉　匠　37位

放送局

令和7年度八戸地区秋季高校放送コンテスト

ラジオドキュメント部門　出場

令和7年度八戸地区秋季高校放送コンテスト

アナウンス部門　1年　木村　麗愛　決勝進出
朗　読　部　門　1年　宮坂凜太郎　決勝進出

第46回青森県高等学校総合文化祭放送部門

ラジオ番組部門　出場　(予選敗退)
テレビ番組部門　出場　優良賞
アナウンス部門　1年　木村　麗愛　出場(予選敗退)
朗読部門　1年　宮坂凜太郎　出場(予選敗退)
研究発表　優良賞

弁論

第46回青森県高等学校総合文化祭弁論部門

優秀賞　佐藤　怜文
(2026全国高総文出場へ)

全国大会出場

弁論部門　佐藤　怜文

私は第46回高等学校総合文化祭弁論部門で優秀賞となり、全国大会に出場することが決まりました。

自分が幼い頃からやっている伝統芸能の伝承について発表しました。自分が抱いていた思いや考えがしっかりと主張でき、とてもうれしく思います。優秀賞という結果を残せたのも御指導してくださった先生のおげです。今自分には何ができるか、何をすべきかを考えて想いを伝える機会、経験ができたことに感謝いたします。来年行われる全国大会でも良い結果を残せるように頑張ります。

弁士番号6
伝承の正解とは？ ～やめない決心～
青森県立三戸高等学校
佐藤　怜文

第46回 青森県高等学校総合文化祭
「弁論部門」
10月11日(土) アピオあおもり イベントホール

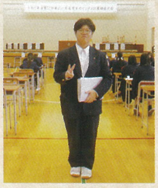
東北大会出場

商業部　薄葉　匠

令和7年度第52回東北六県高等学校ビジネス計算競技大会が岩手県立水沢商業高等学校で開催されました。商業部は部員がいなくて団体を組むことができず、個人での出場になりました。目標であった東北大会に出場できてとてもうれしかったです。

競技を通して、他の学校の力を見ることができると同時に、来年6月に行われる青森県全国大会予選に向けて、新たな目標ができました。全国大会に出場できるように日々練習をかさねて行きたいと思います。

令和七年度第五二回
東北六県高等学校
ビジネス計算競技大会



修学旅行

十一月二十五日～十一月二十九日

2年HR会長　木村　心咲

金閣寺の美しいたたずまい、清水寺などの重要文化財、日本を代表する建築物、USJの楽しかったこと、何より友だちとの会話、とてもいい思い出になりました。その中でも一番印象に残ったのは、最終日に行った海遊館です。海遊館に着いてすぐにたくさんの海の生き物のオブジェに出迎えられてもらいました。それから中に入ると、青色の世界が広がっていました。また、海遊館と言えば大きなジンベイザメを見ることができ、その大きさに感動しました。他にもタカアシガニやエイ、真っ赤なエビなど、初めて見る生き物にたくさん出会えて楽しい思い出になりました。